



4月新しいことが始まる月です。いつもなら期待に胸膨らませ迎える月がこんなに不安でいっぱいな月になろうとは…。今回のことで、日常だった毎日が、かけがえの無い大切なものだったことに気づかされたのではないのでしょうか。つどいの広場も思いがけず休館することになり、急だったので利用者の皆様にはご不便ご迷惑おかけし、申し訳ありませんでした。開館することができるようになりましたら、またご利用ください。皆様にお会いできるのをスタッフ一同お待ち申し上げます。

♥親子で楽しくふれあい遊び♥



お家で過ごすことが多くなり、お子さんとどのように遊んであげたらいいかがわからない、と悩んでいる皆様へ、毎日の過ごし方で少しでも参考になればと思い、こんな特集にしてみました(*´▽`*)

ふれあい遊びはお子さんとスキンシップを取れる大切な時間です。ふれあい遊びや、お母さんやお父さんなどの身近な人の笑顔は、お子さんに安心感を与え、親子の*)愛着形成を育みます。

0歳児

大人が仰向けに寝転がり、すねの上に子どもの体を乗せます。子どものわきの下をしっかりつかんで体を支え、前後・左右に揺らして遊びます。



1歳児

子どもの目の前にボールを置きます。ボールを軽く転がし子どもがボールを追いかけたら「まてまてー」などと言ってあげると盛り上がります。



2歳児

子どもの目の前で大きくジャンプ。そのとき「ジャンプ！」とかけ声をかけて。できなくても、まねっこでOK。全身の筋力を育てます。



3歳児

子どもが四つんばいになった大人の上にもたがります。落ちないようにしがみついたりすることで体幹が鍛えられます。布団を敷いたりしてけが防止に努めましょう。



*)愛着形成

子どもは親や人々の笑顔を見て育ち、子どもも表情豊かになり、親子関係や愛着が形成される。それがその子の健康な育ちにつながる。

愛情の三大要素

- ①目と目で向き合うこと。
 - ②手と手で触れあうこと。
 - ③子どもに微笑むこと。
- とされています。けがに気をつけて、お子さんと沢山ふれあって下さいねヽ(*´▽`)ノ

参考

- ・月齢別0歳児にピッタリの遊びのアイデア集より
- ・年齢別子どもの体と心を育む「運動遊び」アイデア集より
- ・オムツ時間は愛情おやこ時間

ふむふむ名言

子どもはだんだんと人間になるのではなく、すでに人間である

ヤルシユ・コルチャック / ポーランド小児科医、児童文学作



ふれあい遊びの他に、ごっこ遊びをするのはどうでしょうか？たとえば“つどいごっこ”「今日はおうちでつどいごっこしまーす！」といって、おうちでお弁当を食べたり、「今日はママがスタッフさんだよー」と手遊び(げんこつ山の狸さん、むすんでひらいてなど)や絵本の読み聞かせをしたり、こんな時は、できるだけ日常やっていたことをすること、生活のリズムを崩さないこと、運動をすること、が大切だそうです。お試しください！